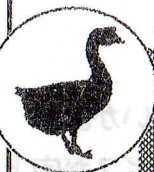


流山市議会議員



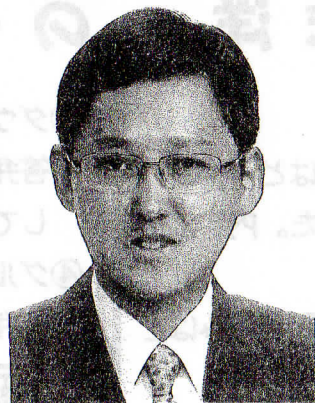
もりた洋一

YOICHI MORITA

議会レポート No 09

【発行】森田事務所 804-7189-8277 FAX04-7189-8278

eメール: moritayoichi2007@yahoo.co.jp



私の、3大スローガン

1. 「私は貰っていません」

①議員報酬の中から20%を、将来発展途上国支援など国際貢献に拠出するため、別口座にプールしています。

②個人に支給される政務調査費は一切受け取らず、議員活動の費用は全て自己負担で行っています。

2. 「もっと改革を」

3. 「クリーンで元気な流山の創造」

平成21年6月11日～6月29日の間、流山市議会6月定例議会が開催されました。今回は流山幼稚園の廃園問題を中心にご報告いたします。

流山幼稚園の平成23年4月廃園議案 僅差で可決

平成16年に実施された「流山市幼稚園協議会」の答申で、公立幼稚園について建物の老朽化、市の財政状況、公立幼稚園に求められる新たな取組などから順次廃園の方針が出され、平成17年の東幼稚園廃園時には、約17000人の反対署名が集まりました。今回の6月議会で議案提出されたのは、平成23年4月1日で廃園される流山幼稚園の廃園問題です。

「民でできることは民で」の方針のもと提出された本案件は、平成20年9月から6回、保護者や自治会への説明が行われましたが、説明が不十分、質問に対する回答がないなどの指摘があり、保護者からは署名による要望書・嘆願書が議員に出され、江戸川台幼稚園PTAからも存続を求める要望書が提出されていました。この案件は、6月22日の教育福祉委員会で審議されましたが、継続審議の動議が出され、地元自治会から議員に出された行政の対応についての指摘事項を加えて、26日に再審議することになりました。(通常議案は委員会で審議、本会議で採決されます)

26日の委員会では、①幼保一元化への市の方針、②老朽建物の建て替え費用2億円の採算性、③市民への説明責任、④不況の中公立幼稚園二一卒の増加、などが審議され、市当局からは、私立幼稚園への就園奨励金の充実と、市民への説明を更に進めることが報告されましたが、26日に再開された委員会でも可決され、29日の本会議にかけられました。

本会議では、廃園を1年延長する修正案が出されましたが、修正案は否決、当初の原案が可決されました。採決の結果は右表のとおりで、わずか1票の差の可決でした。

私は、市の説明責任が不十分で、課題も多く残したままの議案の採決は時期尚早と考え、自らの信念に基づき両案共採決を棄権しました。

会派名	賛成	反対	棄権
流政会	6	3	0
公明党	0	4	0
民主党	2	0	0
共産党	0	4	0
社民党	0	1	0
改21福	4	0	0
民主51	1	0	2
計	13	12	2

上記が原案の採決結果。修正案は、上記と賛否が全く正反対の1票差で否決されました。